

地域資源から
新しいアイデアを
生み出す問題集

宮崎県高鍋町編

IDEA BOOK
アイデアブック



高鍋んこと、どんくらい知っちょる？

歴史と文教の城下町

箱庭のようなまち

ぎょうざのまち

生活するのに“ちょうどいい”まち

高鍋はたくさんの顔をもっている。

あなたもまちの新たな一面や自分だけが知っている

秘密の一面を見つけよう。

自分のまちのよさをたくさん探そう！

作者プロフィール

白岩朋夏

福知山公立大学
地域経営学部地域経営学科3年

宮崎県出身。1998年生まれ。

高鍋町の問題集をつくるにあたり、自分の過ごした場所についてたくさん調べていくなかで「ちょうどいい良いところ」だと実感した。

発行日：2019年6月20日

著者：白岩朋夏（福知山公立大学地域経営学部地域経営学科3年）

発行：福知山公立大学地域経営学部地域経営学科

塩見直紀研究室（特任准教授 090-6249-6539）

620-0886 京都府福知山市字堀 3370 福知山公立大学内

0773-24-7100 <http://www.fukuchiyama.ac.jp>

Q1

宮崎県で一番小さいまち、高鍋町の
「これは負けない！」大きな自慢は
なんだろう？

1

2

3

Q2

夏の風物詩「きゃべつ畑のひまわり祭り」をもっと多くの人に知ってもらうには？

1

2

3

Q3

舞鶴公園や武家屋敷通りなど城下町の名残を活かして観光に来てもらうには？

1

2

3

Q4

全国でもめずらしい町立の美術館がある高鍋町。高鍋町を知らない人に向けて写真展をするならどんな写真を撮る？

1

2

3

Q5

「高鍋城灯籠まつり」をもっと盛り上げ、
楽しむためにはどうしたらいいだろう？

1

2

3

Q 6

持田古墳群や縄文時代早期の遺跡発見
など歴史のまちを知ってもらうには？

1

2

3

Q7

ぎょうざのまち高鍋のぎょうざをもっと
アピールするにはどうしたらいいだろう？

1

2

3

Q 8

初心者から上級者まで楽しめる蚊口浜サーフィン場、快水浴場百選に選ばれている蚊口浜海岸にもっと多くの人に来てもらうには？

1

2

3

Q9

どうすればもっと多くの人に高鍋大使の魅力を伝えられるだろう？

1

2

3

Q 10

夏に比べると冬のイベントやお祭りが少ない。冬に高鍋町らしいイベントをするなら？

1

2

3

Q 11

天然牡蠣やきゃべつ、白菜、焼酎などの
特産品を多くの人に手にしてもらう
には？

1

2

3

Q 12

■ どうしたら町民の人柄の良さを
知ってもらえるだろう？

1

2

3

Q 13

高鍋藩主秋月家の家紋である、町花「ナデシコ」をまちの活性化に取り入れるなら？

1

2

3

Q14

ルピナスパークをもっとにぎやかな
場所にするには？

1

2

3

Q 15

高鍋町を代表するお土産を新しく
考えるとしたら？

1

2

3

Q 16

暮らすのにちょうどいいまち、
高鍋町に移住してもらうには？

1

2

3
